

区政に対する意識調査

平成29年3月

目 黒 区

はじめに

国勢調査によると、目黒区の人口は平成7年調査から増加を続けており、平成27年には277,622人となりました。27万人台に回復したのは、昭和55年調査以来です。しかし、人口構造は大きく変わり、昭和55年に17.3%だった年少人口（0～14歳）は、平成27年には10.4%まで減少し、逆に9.3%だった老年人口（65歳以上）は、20.0%まで増加しました。

少子高齢化の進行による人口構造の変化に伴い、区民サービスに対するニーズも大きく変化しつつあります。また、近年の就学前人口の増加や共働きが増えたことにより、保育所や学童保育クラブなどの要保育率も年々高まっています。一方、将来的な生産年齢人口（15～64歳）の減少による生産力の低下は、経済成長の停滞や経済規模の縮小をまねく可能性を高めるとともに、区財政へ影響を与える懸念があります。

今回の区政に対する意識調査は、刻々と変化する行政需要に的確に答えていくため、今後、どのような施策や事業に重点的に取り組むべきか、皆様の意見・要望をできる限り把握するために実施したものです。

今後も、皆様のご理解とご協力をいただきながら、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現に向けて、魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今回の調査にご協力いただきました区民の皆様、関係の皆様に深く感謝申し上げます。

平成29年3月

目黒区長 青木英二

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査内容	3
3. 調査設計	3
4. 回収結果	3
5. 地区区分	4
6. 報告書の見方	5
7. 回答者の属性	7
II. 調査結果の分析	11
1. 施策全体	13
(1) 優先的に取り組むべきだと思う施策	13
(2) 特に優先すべきだと思う施策	14
(3) 施策に対する「重要度」と施策への取組に対する「満足度」	16
2. 「基本目標1 豊かな人間性をはぐくむ 文化の香り高いまち」	24
(1) 優先的に取り組むべきだと思う施策	24
(2) 特に優先すべきだと思う施策	25
(3) 施策に対する「重要度」と施策への取組に対する「満足度」	26
3. 「基本目標2 ふれあいと活力のあるまち」	32
(1) 優先的に取り組むべきだと思う施策	32
(2) 特に優先すべきだと思う施策	33
(3) 施策に対する「重要度」と施策への取組に対する「満足度」	34
4. 「基本目標3 とともに支え合い 健やかに安心して暮らせるまち」	38
(1) 優先的に取り組むべきだと思う施策	38
(2) 特に優先すべきだと思う施策	39
(3) 施策に対する「重要度」と施策への取組に対する「満足度」	40
5. 「基本目標4 環境に配慮した 安全で快適なまち」	46
(1) 優先的に取り組むべきだと思う施策	46
(2) 特に優先すべきだと思う施策	47
(3) 施策に対する「重要度」と施策への取組に対する「満足度」	48
6. 計画指標	56
III. クロス集計による考察	59
IV. 自由意見	113
V. 使用した調査票	149
VI. 調査結果集計表	163